

熊本地震関連活動報告 \* 小規模連絡会第39報より抜粋

◆本日の主な活動

- ・西原村のグループホーム
- ・阿蘇市の小規模多機能型居宅介護とグループホーム
- ・西原村から熊本市内のグループホーム避難した方々
- ・物資を送る第一段階から次の段階に

◆本日の活動内容

- ・西原村のグループホーム

本日は、2台の車両に満杯の物資を積み、西原村のグループホーム「みどり」が避難している山鹿市の「愛隣の家」へ回りました。8名の方々がグループホームと小規模多機能型居宅介護にそれぞれ4名ずつかれて暮らしておられました。しっかりとケアされていて落ち着いた様子でした。

- ・阿蘇市の小規模多機能型居宅介護とグループホーム

続いて、阿蘇市へ回りました。菊池市から日田市上津江を回り、小国から阿蘇に入りました。小規模多機能型居宅介護とグループホームが母体の鉄筋造りの病院の方へ避難されていました。35名程度が病院で過ごされていました。その後グループホーム2か所を回り、午後から開通した道路で熊本市内へ帰ってきました。

・西原村から熊本市内のグループホーム避難した方々

一方別便は、西原村から避難した方々が暮らしている熊本市内のグループホームへ回りま  
した。普段の倍以上の方々が利用されている状況で、職員さんも大変な様子でした。

更に、小規模多機能の「コムネ黒髪」に行きました。母体の特養に昨日まで避難されてい  
ました。次に同法人のグループホーム「カムさあ」へ行きました。こちらは「カムさあ」の近隣の家  
が地震で倒れかかっているため、地域密着特養のリデル龍田へ避難されていました。

昨日の大雨で、近くの避難所龍田西小学校ががけ崩れで危険なために高校へ移転した地  
域です。地域の方々が特養にも避難されていました。

・物資を送る第一段階から次の段階に

合計 7 か所を訪問しましたが、物資はどこもほとんど不要な状態でした。全国から支援物資  
が入ってきていることと、町の店もある程度品物が満ちてきて、阿蘇など交通が遮断されてい  
る地域を除いて必要なものは買える状態になっています。物資を送る第一段階から次の段  
階になってきたとつくづく感じています。次は住まいの確保とケアです。

本日のスタッフは、福岡県グループホーム協議会から 4 名、北九州の小規模多機能型居  
宅介護から 1 名、熊本の連絡会 6 名でした。